

P連だより

2020年度第2号
2021.3.1

発行：名張市PTA連合会
名張市丸之内55番地
発行責任者：藤原 真也

70歳になりました 名張市PTA連合会は

名張市PTA連合会は今年度70周年を迎えました。まずは、50周年の時にまとめられた記念誌を振り返ってみます。

名張市PTA連合会の歴史は名張市の誕生よりも三年早い、昭和26年に始まりました。このころは、名賀郡PTA連絡協議会という名称でした。



アルバムに貼られた写真の日付には昭和27年の文字があります。当時の写真が丁寧に整理され、銀の文字で情報が記入されていました。貴重な資料です。



発足の記念に各学校に贈呈されたものでしょうか？当時の事を詳しく知ることは今となっては困難です。



名張小学校蔵

発足当時の日本は戦前の教育から戦後の教育へと転換したばかりの頃で、第二回NHK紅白歌合戦が放送された年でもありません。それから50年がたち、記念誌がまとめられました。記念誌の中には戦後のPTAのあゆみが記載され、歴史を知ることができました。



▲事務局收藏の50周年記念誌。

50周年の時は記念式典・記念事業がadsホール(当時の名称は名張市青少年センター)にて盛大に行われました。



当時の写真。50周年記念誌より。

その時に名張市PTA連合会独自の企画として提唱されたのがM・K運動です。



今、子どもに必要なこと
今、PTAができること

いままでは、見て見ぬふりをしていませんか？ 言いたくても言えないことはありませんか？ いそがしくて子どもの話を聞く時間がありませんか？ 「大声で 叫んでみてよ 君の夢 あきらめないで 聞かせてよ！」 M・K運動は子どもの様子に対して、これからは、「もっとよく見て」「言っべきことは言っ」「子どもの話はよく聞くようにしよう」という運動です。

「見て MITE」
「言っ I T T E」
「聞いて K I I T E」

の頭文字をとって名付けられ提唱された運動のことです。これは、20年たった今でも十分通用する事柄です。時代や社会の状況が変わっていったとしても、子どもたちの周りにいる大人たちができることは、これからもかわらないでしょう。



50周年でまとめられた以降の20年分の名張市PTA連合会をまとめた記念誌を今回発行しました。



70周年記念誌。現PTA会員及び関係各所に配布しました。

また、70周年特別イベントも計画しています。新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、未確定のことばかりですが、状況を見ながら、最善を尽くして開催までこぎつけたいと思っています。